

提案書評価基準

1 基本的な評価事項

プロポーザルを特定するための評価項目は、表1のとおりとする。

2 評価方法

(1) 各評価項目について、表1「提案書評価項目」を参照し、次のように評価を行う。

ア 「業務実績」にかかる評価項目は、計10点の配点とする。

イ 「実施方針」にかかる評価項目は、項目内容に応じて、10点、20点、30点とし、計90点の配点とする。

ウ 「実施体制」にかかる評価項目は、項目内容に応じて、10点、20点とし、計30点の配点とする。

エ 「ワーク・ライフ・バランス等に関する取組」にかかる評価項目は、策定・取得していれば各1点とし、計5点の配点とする。

(2) 各評価項目について、表2「評価の視点」を参照し、次のように評価を行う。

ア 「業務実績」にかかる評価項目は、1項目とし、それぞれA、B、C、D、Eの5段階評価を行う。

イ 「実施方針」にかかる評価項目は、6項目とし、それぞれA、B、C、D、Eの5段階評価を行う。

ウ 「実施体制」にかかる評価項目は、2項目とし、それぞれA、B、C、D、Eの5段階評価を行う。

エ 提案内容は、それぞれの評価に対して、換算した配点(A=10/10、B=8/10、C=6/10、D=4/10、E=0/10とする。)によって算出する。さらに、評価の換算式がある場合には、それに応じて算出する。

オ 「ワーク・ライフ・バランス等に関する取組」にかかる評価項目は、5項目とし、Aまたは該当なしの2段階評価を行う。

(3) 出席した評価委員の総合評価点数(135点満点)を合算した値の5割を最低基準点とし、評価点数の合計が最も高い提案を第一順位とする。

(4) 採点と同点の場合は、評価項目のうち、「実施方針」の合計点が高い方の提案を第一順位とする。さらに同点の場合は、(1)、(5)の項目の順で点数が高い方の提案をプロポーザルの上位者とする。それでも決しない場合は、評価委員長が第一順位を決定する。

(表1) 提案書評価項目

評価項目		配点	評価 (A~E)	評価の 換算式	評価点
1	業務実績	10	—	—	—
	(1) 類似業務の実績	10			
2	実施方針	90	—	—	—
	(1) 事業全体の提案イメージとその推進方針	20		(10×2)	
	(2) オープンイノベーションの実現に向けた海外連携機関とのネットワーキング、セミナー開催にかかる事業全体の提案イメージとその推進方針	10			
	(3) グローバル人材育成にかかる事業全体の提案イメージとその推進方針	10			
	(4) 横浜にゆかりのある国際人材の情報発信にかかる事業全体の提案イメージとその推進方針	10			
	(5) 国際コンベンションの企画・開催方針	30		(10×3)	
	(6) ニーズ収集及び実施後のフォローアップ実施方針	10			
3	実施体制	30	—	—	—
	(1) 従事スタッフの構成・専門性・人数など	20		(10×2)	
	(2) 運営計画の妥当性	10			
小計(満点:130点)		130			

評価項目(加算項目)		配点	評価		評価点
4	ワーク・ライフ・バランス等に関する取組	5	—	—	—
	(1) 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定(従業員101人未満の場合のみ加算)	1			
	(2) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定(従業員101人未満の場合のみ加算)	1			
	(3) 次世代育成支援対策推進法に基づく認定(くるみん認定、プラチナくるみん認定、トライくるみん認定)の取得	1			
	(4) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定(えるぼし認定、プラチナえるぼし認定)の取得	1			
	(5) 青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得	左記認定のいずれか1つ以上を取得していれば1点			
	よこはまグッドバランス企業(旧よこはまグッドバランス賞)の認定の取得				
小計(満点:5点)		5	—	—	
合計(満点:135点)		135	—	—	

(表2) 評価の視点

評価項目		評価の着目点	評価				
			A	B	C	D	E
1 業務実績	(1)類似業務の実績	国際プロモーション事業又はオープンイノベーション・グローバル人材育成に係るコンサルティング・調査業務委託等の実績を十分に有しているか。	本業務を遂行できる極めて豊富な実績等を有している。	本業務を遂行できる豊富な実績等を有している。	妥当である。	本業務の遂行に疑問がある。	本業務の遂行に不適である又は実績がない。
	(1)事業全体の提案イメージとその推進方針	事業全体の提案イメージと推進方針について具体性と実現性の裏付けとなる根拠に基づき、本市の現状(強み、弱み等)を分析の上で、中長期的な事業展開の方向性について提案があるか。	立案方針及び具体的な手法が極めて優れている。	立案方針及び具体的な手法が優れている。	妥当である。	立案方針及び具体的な手法に疑問がある。	妥当でない又は該当する記載がない。
	(2)オープンイノベーションの実現に向けた海外連携機関とのネットワーク、セミナー開催にかかる事業全体の提案イメージとその推進方針	海外連携機関と市内企業等とのネットワークの方針と具体的なイメージについて、具体性と実現性の裏付けとなる根拠に基づき提案がされているか。具体的なセミナー開催方針が示されているか。	立案方針及び具体的な手法が極めて優れている。	立案方針及び具体的な手法が優れている。	妥当である。	立案方針及び具体的な手法に疑問がある。	妥当でない又は該当する記載がない。
	(3)グローバル人材育成にかかる事業全体の提案イメージとその推進方針	グローバル人材育成の方針と具体的なイメージについて、具体性と実現性の裏付けとなる根拠に基づき提案がされているか。	立案方針及び具体的な手法が極めて優れている。	立案方針及び具体的な手法が優れている。	妥当である。	立案方針及び具体的な手法に疑問がある。	妥当でない又は該当する記載がない。
	(4)横浜にゆかりのある国際人材の情報発信にかかる事業全体の提案イメージとその推進方針	横浜にゆかりのある国際人材の情報発信にかかる事業全体の提案イメージとその推進方針について、具体性と実現性の裏付けとなる根拠に基づき提案がされているか。	立案方針及び具体的な手法が極めて優れている。	立案方針及び具体的な手法が優れている。	妥当である。	立案方針及び具体的な手法に疑問がある。	妥当でない又は該当する記載がない。
	(5)国際コンベンションの企画・開催方針	国際コンベンションの開催方針について、指標に資するものでありつつ、具体性と実現性があるか。また、コンベンションの成果の効果的発信や他のイベントとの連携など、発信効果を高めるための工夫がされているか。別途発注の「アジア・スマートシティ会議」業務との連携方法が具体的か。自走化に向けた手法が提案されているか。	国際コンベンションの企画・開催方針が極めて優れている。	国際コンベンションの企画・開催方針が優れている。	妥当である。	国際コンベンションの企画・開催方針に疑問がある。	妥当でない又は該当する記載がない。
	(6)ニーズ収集及び実施後のフォローアップ実施方針	具体性と実現性があるか。多面的・体系的・客観的な手法等が提案されているか。自走化に向けた手法が提案されているか。	提案内容が極めて優れている。	提案内容が優れている。	妥当である。	提案内容及び方向性に疑問がある。	妥当でない又は該当する記載がない。
3 実施体制	(1)従事スタッフの構成・専門性・人数など	必要な経験・専門性がある担当者が配置され、連携体制がとれる構成・人数となっているか。 【共同企業体での提案の場合】 組織連携による相乗効果及び具体的な連携、調整の手法について明確に示されているか。	本業務を遂行できる極めて豊富な実績等を有している。	本業務を遂行できる豊富な実績等を有している。	妥当である。	本業務の遂行に疑問がある。	本業務の遂行に不適である又は該当する記載がない。
	(2)運営計画の妥当性	事業の実施について、実現可能なスケジュールが具体的に記述されているか。	十分検討されており高く評価できる。	運営計画が優れている。	妥当である。	本業務の遂行に疑問がある。	業務実施手法と矛盾が見られるなど十分検討されていない

評価項目・評価の着目点		評価				
		A	B	C	D	E
4 ワ ー ク ・ ラ イ フ ・ バ ラ ン ス 等 に 関 す る 取 組	(1)次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定しているか。(従業員101人未満の場合のみ加算)	策定している。				
	(2)女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画を策定しているか。(従業員101人未満の場合のみ加算)	策定している。				
	(3)次世代育成支援対策推進法に基づく認定(くるみん認定、プラチナくるみん認定、トライくるみん認定)を取得しているか。	取得している。				
	(4)女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定(えるぼし認定、プラチナえるぼし認定)を取得しているか。	取得している。				
	(5)青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定を取得しているか。	左記認定のいずれか1つ以上を取得している。				
	(6)よこはまグッドバランス企業(旧よこはまグッドバランス賞)の認定を取得しているか。					